



# ケララ州概要

2026年6月  
在チェンナイ総領事館

## 1 基礎データ

- \* 州都: ティルヴァナンタプラム
- \* 人口: 3,603万人(2026年4月推計)
- \* 面積: 3万8863km<sup>2</sup>(県(District): 14)

- \* 識字率: 95.3%(男性: 96.7%、女性: 94%)(2023-24年)
- \* 宗教別人口比率: ヒンドゥー教; 54.73%、イスラム教; 26.56%、キリスト教; 18.38%(2011年)
- \* 主要言語: マラヤラム語

## 2 政治

### (1) 州政府

- \* 州知事: ラジェンドラ・アーレカル  
(Rajendra Arlekar)(2025年1月~)
- \* 州首相: V.D. サティーサン(V.D. Satheesan)  
( kongress ) (2026年5月~)



サティーサン州首相

- (2) 州議会: 一院制(任期5年、140議席)  
(2031年4月任期満了)

- \* 与党: kongress( INC ) 63、インド統一ムスリム連盟( IUML ) 22など
- \* 野党: インド共産党マルクス主義派( CPI(M) ) 26  
インド共産党( CPI ) 8、インド人民党( BJP ) 3など

### (3) 概況

2026年4月の州議会選挙では、kongress率いる統一民主戦線( UDF )が過半数を得て勝利し、約10年にわたり続いてきた、インド共産党マルクス主義派( CPI(M) )率いる左派民主戦線( LDF )に代わり、政権を樹立することとなった。また、BJPが議席数を増やし、3議席を獲得した。

就任直後から、サティーサン州首相は、女性を対象とした、ケララ州道路交通公社のバス無料乗車制度を発表する等、主要な公約の実施に取り組んでいる。今後の政権運営が注目される。

## 3 経済

### (1) 主要指標

- \* 名目州内総生産(GSDP): 12兆4853億ルピー(2024年度)
- \* 1人当たり所得: 30万8338ルピー(2024年度)
- \* 実質GSDP前年度比成長率: 9.97%(2024年度)  
←9.30%(2023年度)

### (2) 特徴

主要産業はIT、観光、電子機器、繊維、ゴム、食品加工、水産業など。州全体の輸出高の3分の2を食品加工業が占める。

州政府はIT産業振興に注力しており、IT産業集積地として1990年に州南部のティルヴァナンタプラムに「テクノパーク」、2004年に中部のコチに「インフォパーク」、2009年に北部のコジコードに「サイバーパーク」を設置。これら3か所にオラクルやインフォシスなど計800社以上が入居し、10万人以上を雇用。

2007年には起業家支援機関「ケララ・スタートアップ・ミッション」を設立し、スタートアップ企業育成を通じた雇用創出を目指している。2022年は627億ルピーの投資があり、22万人以上の雇用を創出。

中東への出稼ぎ労働者が多く、その送金が州経済を一定程度支えている構図。

産業構成比は第一次産業8%、第二次産業28%、第三次産業64%(2024年度)。

### (3) 日系企業の動向

進出日系企業拠点数は113(2024年10月現在)。主な進出企業は新田ゼラチン、日清食品、YKK、テルモなど。

## 4 ケララ州との関係が深い地方自治体

- \* 出雲市、境港市、松江市、安来市、米子市など